



大上地区の福祉課題について検討

大上地区社協の理事と高齢者部会の会員27名が参加



グループごとの検討に熱がこもる

大上地区社協は、さる12月11日（土）の午前9時から正午までの3時間にわたり、「最近気になる大上地区の福祉課題について」をテーマに、大上自治会館ホールで検討会を開催しました。

当日は、大上地区社協の理事と高齢者部会の会員27名が参加、市社会福祉協議会の石橋氏の指導のもとに4グループに分かれてセブン・クロス法で行われた。セブン・クロス法（今回はファイブ・クロス）は、1人で5件以上の問題点を1件1枚のカードに記入し、チーム全員の分を5つの項目に分け、さらに重要度の高い順に並べて整理する方法で行うものです。今回は、4グループで20項目がリストアップされ、さらに1グループ3項目に集約されたものが発表されて終わった。

今後は、その内容を再度見直して大上地区の課題を1つに絞って実際の活動に移ることになります。

この日は、綾西地区社協から3名が見学に来られ、大上地区社協の検討の様子を熱心に見学していました。



グループ代表からのまとめの発表

寄付を頂いたメイコー社に感謝状を贈呈

大上地区社協は、地元大上で誕生し、そして本社を置く株式会社メイコーさんから本年度、多額の寄付を頂きました。お陰で大上地区社協の活動は、積極的に幅広い分野で展開されています。

この好環境を作って頂いたメイコーさんに感謝の意を表すべく、12月9日（木）午後6時から深谷大上ふれあいの家を会場として、同社総務部の丸山部長、高橋課長を招いて感謝状贈呈と懇談会が地区社協の理事16名と顧問である自治会の見上会長、そして色々と面倒を見て頂いている吉川議員も出席して催されました。

当日は、市ノ澤会長から丸山部長に感謝状を贈呈した後、それぞれ挨拶のセレモニーを行ない、懇談に入ってなごやかなうちにも盛り上がりを見せていました。



丸山部長へ感謝状を贈呈